

三見小中だより

小中一貫教育校
萩市立三見小中学校
平成29年9月29日発行
文責：校長 宮木 剛

盛り上がりました！ 大運動会

9月10日に実施した大運動会では、多数のご来賓・地域の皆様のご来場を得て、子どもたちは一生懸命種目に取り組みました。今年のスローガンは、「三見一体 赤白地域」。日頃お世話になっている地域の皆様に感謝の気持ちを伝え、みんなが一体となって運動会を成功させようというものでした。まさにこのスローガン通りの運動会になったように思います。子どもたちの演技に温かいご声援を送っていただき、誠にありがとうございました。また、保護者の皆様には、前日・当日の朝、準備をしていただきありがとうございました。後始末も素早かったです。みんなが協力して、大成功に終わった運動会。この勢いで、三見を大いに盛り上げていきたいですね。

子どもと関わるコツ その2

勉強しなさい!?

学習習慣の定着には・・・

前回、「子どもをほめる」コツは、「漢字の練習を毎日1時間、1週間やり通すことができたね」「夕食のお手伝いを1週間、毎日してくれたね」と具体的に子どもがやり遂げたときにその内容をほめることが大切になるとお話しさせていただきました。

そこで、今月号では、学習時間を少しでも増やすための子どもとの関わり方について考えてみたいと思います。

テレビやゲームをやめさせても学習時間が増えないことや、「勉強しなさい」と子どもに言ったところで、ほとんどやらないといった現状があるというアンケート結果が出ています。これは、私も含め親としてはお手軽な取り組み方法ですが、思ったような効果が得られませんね。

そこで、子どもとの関わり方を次のように工夫してみたらどうでしょうか。子どもとの距離感を意識し、「隣に座って勉強の様子を見ている」「勉強する時間を決めて、始まりや終わりを確認する」というようなことが、子どもの行動を促すには良いとされています。子どもは、自分に関心が向いていることで安心し、大人が期待することに関心を向けようとしています。ここに今回の「子どもと関わるコツ」が隠されているようです。一方的に大人の願いを伝えるより、横に座って子どもに関心を向けている姿勢を伝えることが大切だと考えます。心を開いた子どもは、自然と大人の思い等を受け取ろうとしてくれるはずです。

また、ご両親が働いている等、なかなか時間が持てないときには、お兄さんやお姉さん、おじいさん、おばあさん等身近な人にその役をお願いしてみるのも一つの方法です。

ご家庭にいる大人が子どもの活動に適度な距離で関わっていくことで一体感を創り出し、定着しにくい「学習する習慣」を育むことができるのではないのでしょうか。小学生のうちはこの習慣が身につくと、中学生になったときに大いに役立ちます。



9月の様子



今年はどうな出し物かと期待していた運動会の応援合戦。中学生の本気の演技に応え、小学生も一生懸命声を出して協力する、三見小中ならではのすばらしい姿が見られました。



10月の行事予定

- 4日(水) 萩阿武小学校陸上記録会
(ウエルネスパーク)
- 6日(金) 小学部秋の遠足
中学部テスト発表
- 7日(土) 萩阿武新人大会(中)
- 10日(火) クラブ活動(小)
- 11日(水) 三見クリーン作戦
- 16日(月) 中間テスト(中)
- 17日(火) 三田八幡宮例祭
子ども相撲大会
- 22日(日) 山口県PTA研修萩大会
- 24日(火) 人権教育参観日
(車椅子バスケット講師)
- 25日(水) 県学力状況確認問題
(小3～中2)
- 26日(土) 文化祭準備・給食あり
- 27日(日) 文化祭
- 30日(月) 振替週休日
- 31日(火) 振替週休日



9月のふれあい給食に来られた方は、中村芳生さん(浦1)、柳井明彦さん(浦3)、金子興道さん(石丸)、田村貢さん(市)、松尾和江さん(市)でした。給食後、中学生の総合学習の一環で、ちょっとした交流会を持ちました。歌あり、クイズあり、楽しかったようです。



新しいALTのアナさんとの対面式を行いました。アメリカから来られています。ナイス・トゥ・ミー・チュー！



中学生の総合学習の一環で、サンフレンズの皆さんとグランドゴルフを行いました。良い交流の機会となったようです。



地震・津波対策の避難訓練を実施しました。昨年度と同様に、保護者への引き渡し訓練も実施し、スムーズに行えました。